

霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

* 当院では、下記の臨床研究を実施しております。

* 研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。

* 本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合、また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

* 診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

* 研究はあくまで日常診療から集積される診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様への何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名（承認番号）	外陰部覆布固定により直腸損傷は避けられるか（2025-13）
研究責任者の氏名（部門）	坂中 都子（産婦人科）
研究の対象者（研究対象期間）	2012年6月より2025年4月までに当院で全身麻酔下に腹腔鏡下または腹腔鏡補助下子宮全摘出術を施行された方です。
研究の目的	全身麻酔下では筋弛緩により肛門が緩むため、膣と直腸の誤認が生じやすく、直腸損傷の合併症が生じる可能性があります。当院では重大な合併症を避けるため覆布固定により肛門を覆い隠す方法で膣と直腸の誤認を防ぐ取り組みをしてきました。当院での合併症対策が有効であったかを振り返って検討します。
研究の方法	研究の対象者の診療録から診療情報項目・臨床データを収集し、評価します。なお、この研究は既にある診療録を調査する研究であり、研究の対象者に新たな診察や検査による負担、費用が発生することはありません。
研究に使用される診療情報項目	①患者背景情報；生年月日、性別、既往歴、現病歴、アレルギーの有無 ②身体所見；身長、体重 ③画像診断；エコー検査、MRI 検査 ④臨床検査；血液・尿 ⑤手術；術中所見、術中写真、手術記録 ⑥病理診断；病理組織検査、細胞診検査
個人情報の保護について	患者様の ID、氏名、生年月日等の個人情報を診療録より収集しますが、氏名は研究用 ID で匿名化し、院外には持ち出さず、その他原資料の取り扱い、及び人権の確保についても十分配慮し、当該研究以外の利用は行わないことといたします。また、保管期間は研究終了後5年間とし、保管期間終了後は、紙媒体はシュレッダー等により判別不能な状態とし、電子データは当該データを消去します。
共同研究機関の有無（名称、責任者氏名）	なし
備考	

お問い合わせ先：〒300-8585 茨城県土浦市下高津 2-7-14

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター（電話：029-822-5050）